



「スイセンプロジェクト」

咲かせよう 多賀城へ届いた想い

被災地を花の力で元気にしようとはじまった「スイセンプロジェクト」。今年もスイセンの花が咲く時期がやって来ました。企画したのは園芸家の柳生真吾さん。全国各地の園芸家、企業、花が好きな方々へ呼びかけ、昨年は5924個のスイセンの球根を被災地へ届けてくれました。

多賀城でスイセンを植えるのは、ロータリークラブやボーイスカウト、そして仮設住宅住民の方々。花を見た人の心が和むように一つ一つ想いを込めて植えたそうです。

多賀城市内では、あやめ園横のシンボルガーデンと東北歴史博物館(今野家横の東北本線線路沿い)でご覧になれますので、ぜひ足を運んでみてください。

今年度の実施は未定ですが、スイセン植え付け、球根の募集、イベント開催等については「スイセンプロジェクト」ブログにて告知します。また、開花報告もブログにて随時お知らせしています。



スイセンプロジェクト ブログ

<http://suisen-project.com/>

POSTAGE



ヒントfrom“たがさぼPress”

たがさぼのブログから地域づくりに役立つ記事をご紹介します

詳しくはブログへ

<http://blog.canpan.info/tagasapo/>

壁新聞はじめました。

2013年3月30日(土)掲載

大阪がおおらかになる壁新聞、その名もズバリ「おおらかへ新聞」。「かまへんかまへん」の心が詰まっています。

自治会・町内会活動お役立ちサイト

2013年3月14日(木)掲載

町内会役員になったけど何をしたらよいかわからない・・・そんな方に朗報！町内会のお役立ちサイトがあるんです。

イベント・活動をメディアに取り上げてもらおう！

2013年3月7日(木)掲載

みなさんは、イベントの告知をする時にどんな方法を使っているでしょうか？新聞などのメディアの使い方をご紹介します。

“たがさぼPress”とは？

たがさぼスタッフによるブログ。興味が湧いたらたがさぼPressへ！*ケータイ、スマホからもご覧いただけます。



たがさぼからのお知らせ

たがさぼが企画する「一歩ふみだすきっかけ」をご紹介します

「ハジメルヒロバ トークタイム」

今年度、第1回目のゲストは多賀城駅前で作作りマルシェを企画する丑田明希さん。仲間たちとワイワイ楽しみながら活動する様子をお話していただきます。地域の活動に一歩ふみだしたいという方はぜひご参加ください。

日にち	2013年5月11日(土)
時間	午前10時30分～午前12時
会場	多賀城市市民活動サポートセンター 301会議室
費用	500円(当日持参)
定員	10名(先着順)
申込み	多賀城市市民活動サポートセンター窓口 または電話にて
問合せ	022-368-7745



つながりつくって自律へ一歩

NPO 法人仙台夜まわりグループは、仙台市を中心にホームレスの支援を行っている団体で、主に安否確認、炊き出し、食事会、生活用品提供などを実施しています。また、単にモノを配る、というだけではなく、自律のためのセミナーや有償掃除ボランティア、簡易住宅の提供を通して自律した生活を送る支援も行っています。今回は、支援活動の一つである「ゆっくり過ごす会」にボランティアとして参加した体験をご紹介します。

voice ゆっくり過ごす会に参加しました

3月14日(木)、みやぎNPOプラザで行われた「ゆっくり過ごす会」にボランティアとして参加しました。この会は、毎週木曜日にホームレスへ食事や娯楽、そして交流の場を提供するために実施しています。今回の私たちの役割は、会場設営と食べ物の配膳です。この日のメニューは、食事の提供(モツ煮込み丼とカップラーメン)、DVD鑑賞など。みなさんは食事を摂りながら、新聞を読んだり他の参加者と会話を楽しみ、ゆっくりとした時間を過ごしていました。合間にスタッフが、参加者から近況を聞いたり、初めて来た方にはなぜ路上に出てしまったのか、どうしたら今抱えている問題を解決できるのか、などの相談にも応じていました。参加者は30名以上、全員が男性で年配の方がほとんどでしたが、中には若い方の姿も見られました。

私が印象的だったのは、見た目ではホームレスだと分からない方ばかりだったことです。自律支援の一つとして仙台夜まわりグループではシャワー、洗濯、散髪などのサービスも提供しています。ほとんどの方がスタッフなのか参加者なのか区別ができないほどに身だしなみが整っていました。仕事を得るには身なりを整えることも必要なのです。

2012年4月に厚生労働省から発表された目視調査による宮城県内のホームレスの数は92名。ただし、あくまで目視による調査です。ホームレスと判別できなかった方、ネットカフェや大型銭湯、車上で生活している方も加えるとさらに数は多くなります。ホームレスとなった

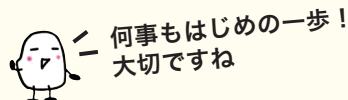
背景は失業、多重債務、家庭環境などさまざま。仙台夜まわりグループの支援によって、500名近くのホームレスが社会復帰に成功しています。ホームレスへの支援というどうしても食べ物の提供をイメージしてしまいがちです。しかし、それだけでは問題を解決したことにはなりません。社会との接点を持ち、自分の力で生活していけるお手伝いをすること。それが自律のための支援なのです。

今回、私たちがお手伝いした作業は、専門的な知識がなくてもできることです。しかし、こうした私たちにもできることが、ホームレスの社会復帰につながる支援なのだと感じました。

体験者：櫛田洋一（たがさぽスタッフ）



DVD鑑賞のようす



仙台夜まわりグループでは、ボランティア、支援物資、カンパを募っています。協力したいという方はホームページをご覧ください。
<http://www.yomawari.net/>（仙台夜まわりグループで検索）

「tag」1号「おそろわけではじめる社会貢献」で紹介したNPO法人ふうとばんく東北 AGAIN で集めた食品も仙台夜まわりグループを通じてホームレスの方に提供されています。いろいろな団体が協力しあって支援につながっています。



イベントに行ってみよう

多賀城や周辺地域のイベントをご紹介します



多賀城月の市

今年度最初の月の市。テーマは「子ども」。子どもファッションショー、はたらくくるま、タガレンジャーなど、子どもが喜ぶ企画が盛りだくさんです。

日にち	2013年6月8日(土)・9日(日)
時間	8日 午前10時～午後4時 / 9日 午前10時～午後3時
会場	多賀城駅前長崎屋跡地
問合せ	022-368-1141(市商工観光課)
主催	多賀城月の市実行委員会

What's



「tag」には、多賀城 (tagajo) の頭3文字、みんながタグを組んで地域をつくる、多賀城に新しいタグ(価値)をつける、という意味が込められています。



NPO復興お役立ち情報

NPOによるサービス、相談窓口などをご紹介

【チャイルドライン】NPO法人チャイルドライン支援センター
学校のこと、家族のこと、いじめのこと等悩みや不安を抱える子どもの相談窓口です。どんなことでも安心してお話ください。

電話	0120-99-7777 (通話料無料)
時間	午後4時～午後9時(月～土曜)
URL	http://www.childline.or.jp/supporter/

【POSSE 労働・生活相談】NPO法人POSSE

残業代、有給休暇、解雇、労災などの労働相談や雇用保険、生活保護、福祉制度などの生活相談に応じています。

電話	03-6699-9359
時間	24時間対応
URL	http://www.npoposse.jp/



「たがさぽ」ではツイッターもやっています。フォローお願いします！
@tagasapo



「たがさぽ」ホームページはこちら
<http://www.tagasapo.org/>